

コロナ禍を乗り越えて対面式の実技キャンプ開催!

JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技1 「成犬キャンプ」開催報告

新型コロナ感染拡大の影響で開催延期が続いていた「インストラクター養成コース」の実技パート「成犬キャンプ」を10月ついに開催することができました。ここに至ることができたのは、数度にわたる開催延期にもかかわらず参加を心待ちにくださった受講生の皆様、コロナ禍における開催是非の判断や感染対策へのご助言を何度もくださった執行役員の先生方、さまざまな制約の中でも最善の学習プログラムを実施してくださった講師の先生方、そしてインターンの皆様犬の貸し出しにご協力くださった皆様のおかげです。心から御礼申し上げます。感謝の気持ちをお伝えするとともにここに開催のご報告をさせていただきます。
(講座プログラムディレクター：羽金道代)

開催までの経緯

家庭犬しつけインストラクターを養成するカリキュラムでは、実際に犬を扱いハンドリングやトレーニングを学ぶ実技パートが非常に重要です。その第一段階である「成犬キャンプ」はこれまで年に一度春に開催してきましたが、2020年3月に予定されていたキャンプがコロナ感染拡大でやむなく開催中止。その後感染状況の好転を願って今年2021年5月6月に計画しましたが、東京都に緊急事態宣言が発令されたため中止。お申し込みいただいた受講生の皆様にはその度にごっかりさせていただきましたが「開催を待っています」というお声をいただき、事務局黒田さんと毎回ありがたく思っていました。そしてワクチン普及が進みはじめた時期に改めて10月の開催を計画。ついに浅草のレンタルスペース「エリール」において3日間のキャンプを二回(計6日間)開催することができました。

感染対策

受講生、講師スタッフさらには協力してくれる犬たちの安全と健康を守るために、執行役員の先生方からもご助言をいただき、主に下記のような対策を行いました。

▼事前対策

参加者スタッフ全員「ワクチン接種記録」または「PCR検査陰性通知」の提示 / 参加初日朝に各自抗原検査 / 健康チェック表の提出

▼キャンプ期間中の対策

毎朝の検温・健康状態の申告 / マスク装着・手指消毒・換気の徹底 / 会場内にCO2センサー設置 / 昼食は黙食 / 会場・グッズの消毒の徹底 / 参加者同士グッズの共有を避けることや協力犬たちのケアにも配慮

また会場内の密を避けるために参加人数を制限。前半8名・後半7名での開催としました。こうした対策とちょうど感染者が減少した時期が重なり、受講生スタッフともに全員健康にキャンプを終了することができホッとしています。

プログラム内容

感染対策で制約がある中でも、これまでの成犬キャンプとの差異が出ないように講師の先生方には実技内容をしっかり指導していただきました。またインターンとしてお手伝いくださったインストラクター、愛犬を同伴して協力してくださった皆様のおかげで受講生の皆様にはさまざまなサイズ / タイプの犬をハンドリング・トレーニングする経験をしていただきました。ただこれまでのように懇親会や気軽なおしゃべりタイムを通してのネットワーク作りは難しかったので、キャンプ終了後にオンラインでのフォローアップを実施。前後半合わせて15名の受講生と講師 / インターンがオンラインで集合し、情報交換 / 質疑応答 / 今後の学習アドバイスなどの時間を設けました。

今後に向けて

コロナがこのまま落ち着いてくれることを願いながら、しっかりと感染対策を行っての実技パート開催、オンラインでの講義パート開催を行い、より多くの皆様にインストラクターを目指していただけるように講座運営を進めていきたいと思っています。コロナ禍で犬を飼う人が増え、しつけ教室やインストラクターへの関心や期待がさらに高まっているように感じます。犬と人が幸せに暮らせる社会の実現を目指す「家庭犬のしつけ方講座」を今後ともどうぞよろしくお願い致します。

